

紹介します

みんなが力を合わせて 若草学田通りを愛する会



「若草町内会では、住みよいまちづくりを目的に環境美化に力を入れています。そこで、町内会の回覧で参加者を募り『若草学田通りを愛する会』を結成しました」と話すのは、同会代表の佐々木文二郎さん。



この制度ができる前は環境部の取り組みの一つとして活動していたそうです。現在は、11人の会員で区間を決めて草刈りやごみ拾い、花壇の管理などを行っています。

「自分たちの住む地域を市と連携してきれいにしましょうと活動しています。雑草取りでは、以前は草を刈るだけでしたが、根を残すとすぐに伸びてきますので、今では根から取るようにしています。会員は高齢者が多いので、しゃがんで行うことが多いこの作業はつらいですね。でも、少しでもきれいなまちになればと活動していますので、作業が終わりきれいになった場所を見ると、満足感や充実感がありますし、「ごころうさまで」と声を掛けられると励みにもなります。みんなが力を合わせ、身近なことから取り組むことが、きれいなまちづくりにつながるのではないのでしょうか」と佐々木さんは話してくれました。

一人ひとりがしっかりとマナーを守って 汐平グループ



「退職してから、近くを歩くとごみが非常に気になり始めました。車でアッという間に通り過ぎるのは違い、ごみがなかなか離れてくれないんです。どこまでも付いてきて『どうする！どうする！』と処理を迫っているようで当惑しました」と話すのは汐平グループ代表の門野浩二さん。



この制度ができる前から汐平グループの皆さんは、時間があるときにそれぞれがごみ拾いなどをしていました。

「この事業が始まることを知り、これこそ最も身近な『協働のまちづくり』だと思い参加しました。以前は、自分たちでごみ袋などを用意していましたが、今は市から提供してもらい活動しています。ごみ拾いのほかに、この地区は『景観地区』とされていることから、市道脇と市道に平行して作られた遊歩道の草刈りを月1回の割合で実施しています。今年はイタドリ勢いを何とか抑えられないか取り組みを始めました。一人ひとりがしっかりとマナーを守ればごみは少なくなると思うんですけどね。以前、全くとごみが目につかなかったまちを訪れたことがあります。この事業が広がり、登別市が多くの人を訪れる観光地にふさわしい、心に負担を掛けないまちになるといいですね」と門野さんは話してくれました。

『のぼりべつ・クリーン
&フレッシュ事業』の

お申し込み・お問い合わせは

管理グループ

☎053230 FAX058286

Eメール kanrika@city.
noboribetsu.hokkaido.jp

【里親の手続き】

市に年間活動報告書を提出します。
※報告書は各年3月末日までに提出
していただきます。

活動を開始します。

市の手続き
里親の要望により、清掃用具を提供します。アダプトサインは、設置
要望があり、また、設置可能な場所
がある場合に設置します（原則1活
動場所に1カ所）。